



* 12 月の道德の日 *
「感謝・家族愛・勤労」

南小だより 12 月



あけまちの丘から
校長だより

秋空の下で賑わったふるさとまつり。今年で 36 回目を迎えるこの行事は、牟礼南小学校の開校後間もなく始まり、長い伝統がある学校の自慢の行事です。

まつりのオープニングの前に、第 2 回学校運営協議会を開催しました。委員の皆様は、地元でご活躍のことはもとより、過去には PTA 活動等にも励まれ、本校の歴史をつくってくださった方々です。

「前はこうだった。」など懐かしいお話を伺うことができました。また、ふるさと学習の講師の一人からは、長野県旧牟礼村との交流のお話も伺いました。「こちらからは魚を運んで行って向こうでさばくのだけど、屋外の催しなので、手が冷たくてお湯で手を温めては包丁を握った。」のだそうです。今は飯綱町となった町から運ばれてくる甘酸っぱい香りのりんごにも、もっともってエピソードがありそうです。校区の方々のふるさとまつりへの思いを伺い、この行事の深い意味について知ることができました。

子どもたちは、「絵本」「陶芸」「石のアート」「光と緑のアート」「プログラミング」「言葉を伝える」「魚料理」をテーマに地域で活躍している方々を迎え、体験的学習をしました。どの活動もすばらしく、講師の方々の情熱や大きな夢強い志にふれてとても豊かな気持ちになりました。

手作りバザーをしてくれた地域の方、保護者の方々も長い時間と労力をかけて計画や準備をしてくださいました。このような子どもを取り巻く大人の、ふるさとを愛する気持ち、子どもたちへの愛情や希望は、毎年子どもに伝わってきて 36 回目となっているのです。地域や家庭の教育力が結集したこの行事がさらに賑わうよう、37 回目に向かって知恵や力を集めていきたいと思ひます。

12 月の生活目標 「進んで仕事をしよう」

四字熟語の中に「進取果敢」ということばがあります。意味は「自ら進んで物事に取り組み、決断力に優れていること」です。自分から進んですることにより、仕事に「やりがい」が生まれます。12 月は 1 年間の締めくくりの月です。身の回りの整理整頓や清掃活動に進んで取り組めるように声かけをしていきたいと思ひます。

(生徒指導主事)

大掃除をして 新しい年を迎えましょう。

昼休み後の清掃時間には、多くの子どもたちが黙々と自分の持ち場を掃除しています。この頃、外掃除担当の子どもたちは、落ち葉集めに懸命です。きれいにした場所を振り返って眺めるととてもよい気持ちになります。

先日、1 年生と 6 年生が「キレイのタネまき教室（おそうじについて学ぼう！）」の出前授業を受けました。掃除の意義や掃除用具の正しい使い方を知りました。空気中のほこりが床に落ちてくるまでには 8 時間かかること、机は周りを拭いてからコの字に拭くこと、床はほこりを舞い立たせないように「押さえ掃き」をすることなど、知識や知恵をたくさん得ました。

最近では 1 年生も掃除がとても上手になってきました。上手にできるとやる気もさらにアップします。年末にはお子様もいっしょに大掃除をして新しい年をお迎えください。(清掃指導担当)